61 九州における *Nevermannia* 亜属の *vernum* 種群に属する 1 未記載ブユ種の形態的特徴

○佐藤寛子・高岡宏行・福田昌子（大分大・医・感染予防医学）

Morphological characteristics of an undescribed species belonging to the *vernum* species-group of the subgenus *Simulium* (*nevermannia*) in Kyusyu

Sato, H., Takaoka, H., Fukuda, M.

大分県久住町の一水系において *Nevermannia* 亜属の *vernum* 種群に含まれる 1 未記載ブユ種を採集した。本種は大西らが1971年に学会発表した *Eusimulium* sp-3 とされる。雌雄成虫・蛹・終齢幼虫について形態的観察を行なったのでその特徴を報告する。1) 雌雄成虫とも胸部の *katapisternum* の上縁付近に数本の微毛を有する。2) 雌成虫の脚の大部分は黄色である。3) 雌成虫の *maxillary palp* の第1・2節は黄土色。4) 雌成虫の *sensory vesicle* は第3節の0.6倍と大きい。5) 受精嚢はほぼ卵型。6) *genital fork* の腕には明瞭な前方突起を欠く。7) *ventral plate* は中央部のみ有毛。8) 蛹の額部には2対の長毛を有する。9) 呼吸管は細くて長く（体長の1.3-1.4倍）、4本とも同長同大である。10) 繭は単純なスリッパ型。11) 幼虫の *cleft* は *bridge* よりはるかに短く、M字型を呈する。12) *rectal papilla* は単純で二次突起を欠く。日本産6既知種との比較も行なう。

62 タイ国北部における人囔法を用いたブユ成虫の採集

Choochote, W. (チェンマイ大・医・寄生虫)・○福田昌子（大分大・総合科学研究支援センター、大分大・医・感染予防医学）・青木千春・高岡宏行（大分大・医・感染予防医学）

Collections of adult black flies attracted to humans in northern Thailand

Choochote, W., Fukuda, M., Aoki, C., Takaoka, H.

タイ国北部Doi Inthanon国立公園中の標高の異なる4地点で、2003年8月から11月まで各地点で毎月2回、人囔法でブユ成虫を朝6時から午後6時まで捕集した結果、標高400mでは合計5種1,142個体、標高860mでは10種3,918個体、標高1,360mでは15種2,921個体、標高2,565mでは3種2,144個体、4地点合計では19種10,125個体（♀10,118, ♂6, ♀♂1）が採集され、標高別に種構成が異なることがわかった。優先種は標高2,565mでは *Simulium rufibasis* で、その他の地点では *S. asakoe* であった。全体として、早朝と夕方に多く採集されたが、同じ標高でも日内採集数のピーク時間に季節的变化があった。また、19種のうち10種が新たに人に誘引されることがわかった。さらに、タイでは人吸血性ブユ種として *S. nodosum* や *S. nigrogilvum* が知られているが、今回の調査で *S. asakoe*, *S. chamlongi*, *S. rufibasis* の3種も実際に人を吸血することがわかった。